



平成28年度 施政方針(要旨)

第396回市議会定例会

はじめに

二期目の市長就任のご挨拶と、今後四年間に取り組む市政運営にあたっての基本的な考え方や、主要な施策について所信を申し述べるとともに、平成28年度の施政方針を申し述べ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

まずは、二期目を迎えるにあたり「宜野湾がいちばん!」との強い思いで、向こう四年間で取り組む所信を申し上げます。

私は、世界一危険といわれる米軍基地普天間飛行場を抱える宜野湾市から、世界一安全で活気に満ちあふれ、豊かで住みよいまち、平和で潤いのあるまちづくりを目指し、市民の

皆様と語り合い、一緒に考え、公平、公正で市民の夢が叶えられる諸政策を計画、実行し、市民協働のまちづくりを全力で推進するとともに、市民目線で市民に開かれた行政運営に取り組みます。

特に、最大の課題である基地行政につきましては、普天間飛行場の返還を日米両政府が合意してから本年は20年の節目を迎えます。返還の原点は「早期の危険性の除去と基地負担軽減」です。普天間飛行場の固定化を絶対に阻止し、一日も早い閉鎖・返還を実現するため、国内はもとより訪米行動など様々なアプローチを実行し、日米両政府に対して強く働きかけてまいります。また、返還までの間の基地負担軽減にも全力で

取り組みます。

西普天間住宅地区の跡地利用に關しましては、琉球大学医学部及び同附属病院の移設を中心とする国際医療拠点の形成に向けて引き続き取り組みを進め、また、西普天間住宅地区に隣接するインダストリアル・コリドー地区や西海岸地域との連携も視野に入れながら、テーマパーク施設の誘致などによって働く場を創設し、雇用の拡大と子どもたちに夢を与えるようなまちづくりを行い、そして、なにより世界水準の医療・観光リゾート市を目指したまちづくりを全力で取り組みます。

「夢あふれるまち宜野湾」といたしまして、テーマパーク施設の誘致や「宜野湾みらい特区」の創設などにより夢と活気に満ちあふれるまちづくりに取り組み、また、跡地利用を進めている西普天間住宅地区に、地下市民駐車場及び県道81号線を横断する地下通路の建設実現に向けた取り組みを行います。広く市民に利用されている市民広場の利便性の向上を図るため、野球場や駐車場等の整備にも取り組みます。

佐真下から上原交差点までの市道宜野湾11号及び中原進入路の早スポーツイベントの誘致を推進します。世界に向けたクール・ジャパンの拠点として、エンターテインメント産業の支援を推進します。

「災害に強い安全なまち宜野湾」といたしまして、防災対策を強化します。西普天間住宅地区から国道58号へのアクセス道路を確保し、災害時には避難道路として対応できるように建設にも取り組みます。西海岸地域に津波避難ビルの指定を増やし、また、視覚、聴覚の不自由な方が災害に対処できる体制を整備します。自主防災組織の育成を支援し、備蓄食料等の確保を拡大します。米軍基地内通行を含む防災訓練を引き続き実施します。

「行財政改革を推進し、市民サービスの向上に努めるまち宜野湾」といたしまして、市役所窓口全業務の昼食時間帯の開設や、24時間対応の市役所コールセンターの設置により市民サービスの向上を図ります。指定管理者制度の拡充等により積極的に民間活用を推進します。

「環境に配慮した暮らしやすいまち宜野湾」といたしまして、環境対策を推進します。小型収集車両等の導入等により、ごみの門前収集の完

期全面供用開始の実現と、47年間末着手であった普天間の通称「万年通り」の拡張に向けて取り組みを進めます。

普天間飛行場周辺まちづくり事業では、普天満宮前に門前広場を整備するほか、交流施設の建設と国道330号沿道の整備に取り組みとともに、真栄原地区において、子育てや健康増進機能等を備えた(仮称)総合保健福祉センターの建設及び道路整備を行い、両地区の活性化を図ります。

西海岸地域においては、西普天間住宅地区との連携を図りつつ開発を推進するとともに、仮設避難港及びその周辺の早期開発を強力に推進します。

長田地区、真志喜地区、中原地区など各地域公民館の建設並びに我如古地区、愛知地区の公民館改修を実施します。

東京オリンピック聖火リレーの出发点を普天間飛行場で行えるよう誘致に取り組み、同飛行場の返還実現後には、聖火リレーの出発点記念として本島を一望できるランドマークタワー建設の実現に取り組みます。

「子育て支援のまち宜野湾」とい全実施に取り組みます。広域火葬場の建設を推進します。動物愛護団体及び関係機関と連携し、動物の適正飼養改善を図ります。

「基地のない平和なまち宜野湾」といたしまして、本市最大の課題である普天間飛行場問題については、5年以内の運用停止及び一日も早い閉鎖・返還並びに基地負担の軽減の実現に向けた取り組みを強力に推進し、米軍機の夜間及び早朝飛行停止に向けた取り組みを強化します。

普天間飛行場がまちのど真ん中に存するための市民の時間的、経済的損失や騒音被害に対する補償措置を強く要求します。米軍機の飛行に起因する騒音や、電波障害の解消に向けた対策エリアの拡大や要件の見直し、また、市民負担軽減のための受信料減免等に引き続き取り組みます。

インダストリアル・コリドー南側地域の早期返還の実現に取り組みます。普天間飛行場の跡地利用計画を早期に策定し、沖縄の振興をリードするまちづくりを推進し、普天間飛行場の跡地へ鉄軌道の導入を推進します。

続きまして、平成28年度の施政方針を述べます。

たしまして、平成29年度までに待機児童ゼロを達成できるよう、認可保育園の創設や小規模保育園事業等の促進、保育士の処遇改善、潜在保育士の復職支援等に取り組みます。

ひとり親世帯への自立支援、DVからの女性保護対策、母子生活支援施設整備等の充実強化に取り組みとともに、ひとり親世帯等の児童生徒への学習支援事業を継続し、新たに大手学習塾と連携した学習支援にも取り組みます。こどもの医療費助成事業については、小学校就学前までの通院医療費の完全無料化を継続し、本年4月から小学校6年生までの助成制度の拡充を実施します。小学校の給食費の無料化に向けて引き続き取り組み、大謝名児童センターを建て替え、長田児童館の建設をはじめ、各小学校区に児童センターの建設を推進します。

「女性も高齢者も輝くまち宜野湾」といたしまして、高齢者福祉の充実や、女性の社会進出が実現できる環境を整備し、男女共同参画社会の実現を目指します。

伊利原老人福祉センターを開所し、赤道老人福祉センターとともに、高齢者福祉の拠点を充実強化し、住民自治の意識づくりを強化するため「市民協働推進基本指針」及び「市民協働推進実施計画」に基づいた取り組みを進めるとともに、引き続き男女共同参画の推進に取り組みます。

平成28年度は長田公民館及び真志喜公民館の建設工事を行います。本年10月に開催予定の「第6回世界のウチナンチュ大会」にあわせて「世界のジノンチュ歓迎の夕べ」を開催し、海外で活躍するジノンチュとのネットワーク構築を図ります。

小中学校教育につきましては、引き続き学習支援員を小中学校に配置し、また、外国語教育の充実を図るため、小学校英語教育課程特別校事業を継続していくとともに、引き続き中学校短期海外留学派遣事業及び英語検定料の半額助成を実施します。

特別支援教育につきましては、幼稚園、小学校、中学校へ引き続き特別支援教育支援員を派遣し、障がい等のある子ども一人ひとりに適切な

基本目標に向けた取り組み

第1章「市民と共に歩み響きあう都市」